


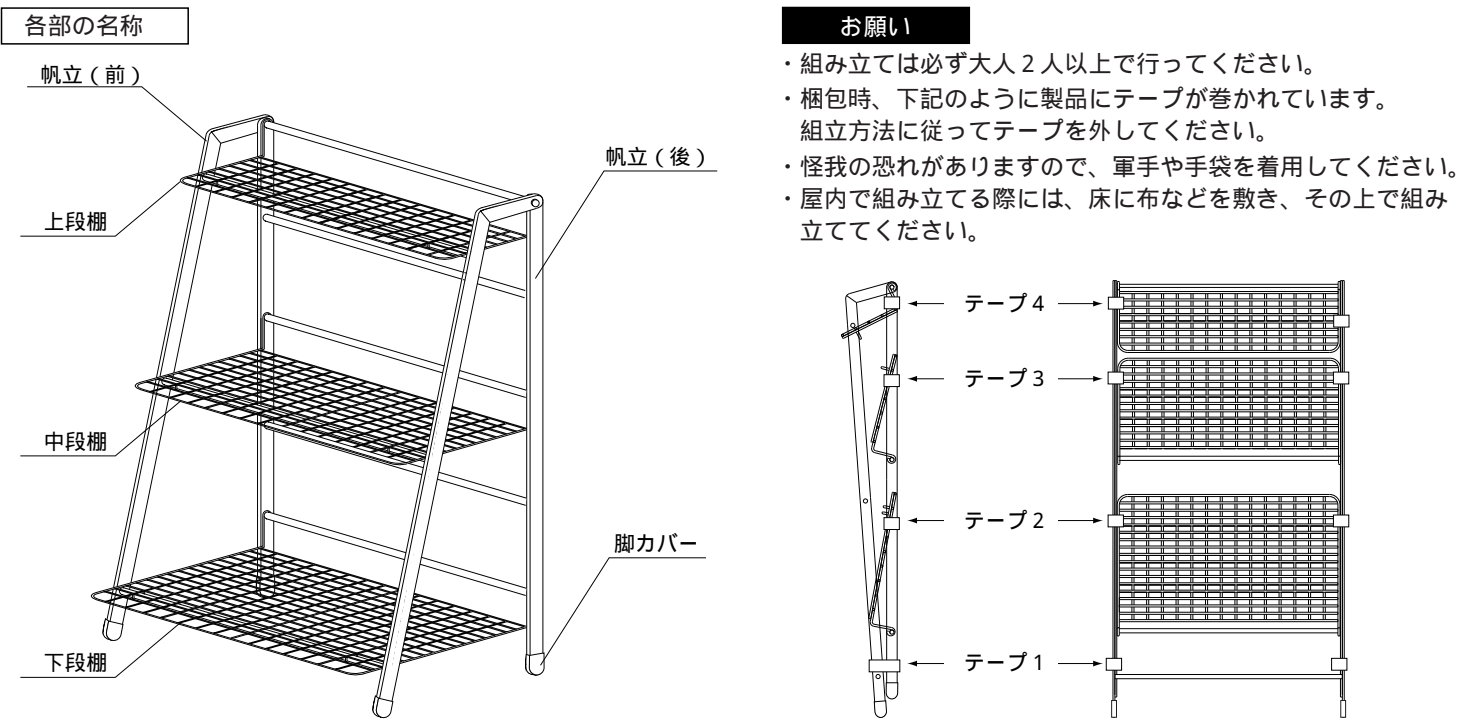
無印良品

ガーデンシェルフ（折りたたみ式）

保存用 取扱説明書

	当製品は溶融亜鉛メッキ加工の特性上、表面に突起があったり、棚の網目に固まった亜鉛が付着している場合があります。怪我の恐れがありますので、指を入れるなど、棚の網目には手を触れないでください。
---	--

各部の名称



安全上のご注意

- 必ず水平で堅い地面のうえに設置してください。
- 本体をしっかりと固定するため、「棚の取付け」に従って確実に棚を取り付けてください。固定が不十分ですと、本体の転倒や破損の恐れがあり、載せていたものが落下するなど大変危険です。
- 棚のうえに人が乗ったり座ったり、踏み台の代わりなどにしないでください。転倒や事故につながる恐れがあります。
- 帆立の間や棚の固定部には、手や指を入れないでください。挟まれて怪我をする恐れがあります。
- 小さなお子様が遊ぶ場所などでの設置はおやめください。棚にぶつかり、事故につながる恐れがあります。
- 耐荷重量を超えるものは棚に載せないでください。棚の変形や破損の恐れがあります。
- シェルフを地面に引きずると脚カバーが破損し、地面を傷つける恐れがありますのでおやめください。
- 棚の位置や数を変えることはできません。必ずすべての棚を使用し、棚を外したり、付け替えたりすることはおやめください。安定性が悪くなり、転倒や破損の原因となります。
- フックなどを棚や帆立に引っ掛けて使用しないようにしてください。
- 上段のみにものを置いたり、片側に偏って荷重をかけたりしないでください。

溶融亜鉛メッキ加工について


当製品は、鉄材の腐食を抑制するために溶融亜鉛メッキ加工を施しております。ご使用にあたって、以下のことをご確認ください。

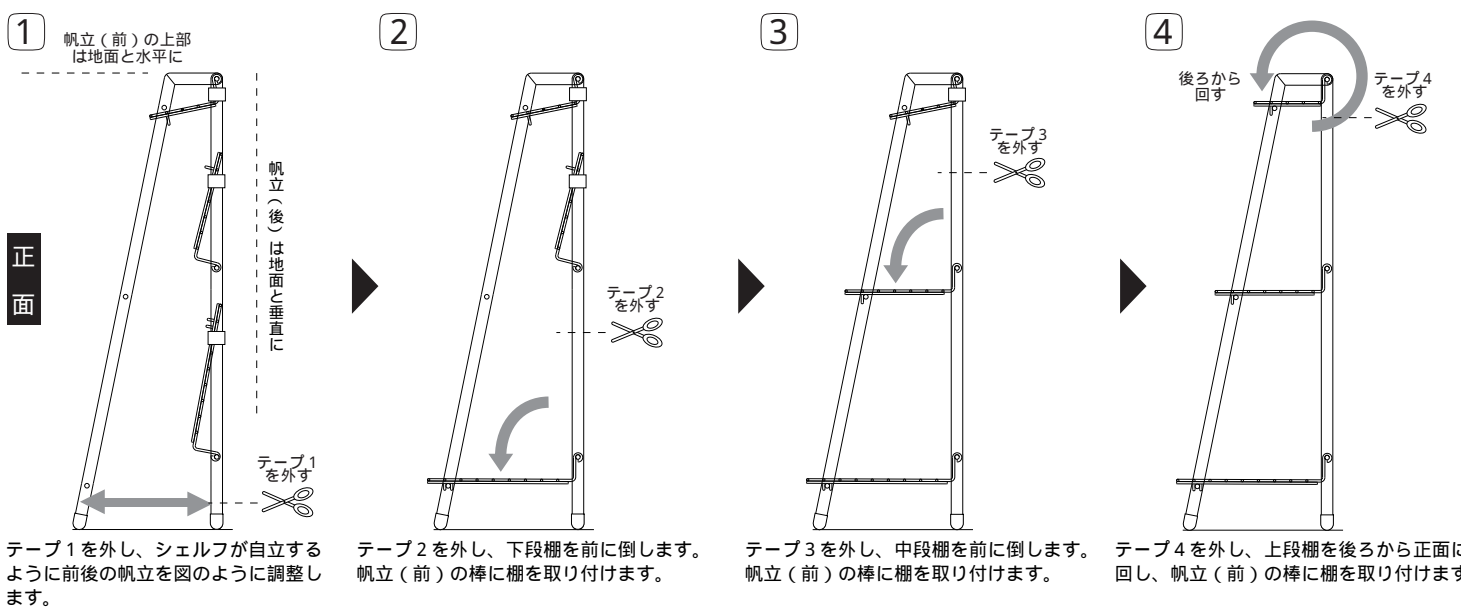
- 溶融亜鉛メッキ加工は、鉄材の腐食を抑制するものです。腐食を完全に防止するものではありません。ご使用環境やご使用年数により腐食が進行することがあります。
- 当製品は、鉄材のうえから溶融亜鉛メッキ加工を施しております。こすったりぶついたりすると亜鉛皮膜がはがれ、錆や劣化の原因となります。
- 溶融亜鉛メッキ加工の特性上、表面に突起があったり、棚の網目に固まった亜鉛が付着している場合があります。怪我の恐れがありますので、指を入れるなど、棚の網目には手を触れないでください。
- 使い始めの段階で、ごくまれに表面に白い粉が付着する場合があります。これは雨や湿気により亜鉛が酸化したもので、耐食性には影響ありません。
- 耐食性を弱める恐れがありますので、棚に載せている植物に栄養剤・殺虫剤・消毒剤を使用する際には、植物を棚から降ろしてから作業をしてください。

組立方法

組立方法

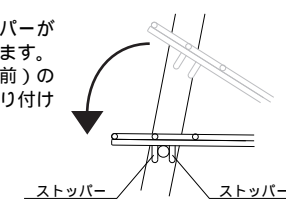
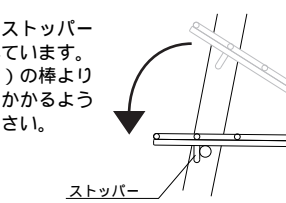
安全に組み立てていただくために、下記に注意してください。

	<ul style="list-style-type: none">必ず水平な場所で組み立ててください。不安定な場所での組み立ては、転倒や破損等の原因となり危険です。テープを外す際は、本体が急に倒れてこないよう注意し、本体をしっかりと押さえてください。手や指を挟まないよう、帆立の間には手や指をいれないでください。（ 1 ）棚を取り付けるときは、必ずシェルフの正面から手を伸ばして棚を組み立ててください。帆立の間から手をいれ、棚を組み立てることは危険ですからおやめください。（ 2 ）棚の取付け方は、下記「棚の取付け」をご確認ください。
---	--



棚の取付け

当製品は、下段棚を取り付けることで帆立が安定します。組立方法に従って、必ず下段棚から取り付けを行ってください。

<p>< 下段棚の取付け ></p> <p>下段棚には、ストッパーが前後に付けられています。図のように、帆立（前）の棒をさむように取り付けをしてください。</p> 	<p>< 中段棚・上段棚の取付け ></p> <p>中段棚・上段棚には、ストッパーが前面に1つ付けられています。図のように、帆立（前）の棒より前にストッパーが引っかかるように取り付けをしてください。</p> 
---	---


ご使用にあたり（必ずお守りください）

本体の移動

- 棚に置いてある植物等を全て他の場所に移してから本体を移動させてください。
- 本体の移動は必ず大人2人以上で行ってください。


< 折りたたまずに移動する場合 >

本体の両脇に分かれ、帆立を持ちます。このとき、必ず帆立の上部を持つようにしてください。

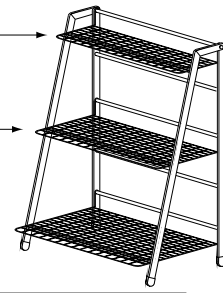

	帆立下部や棚板を持って移動することは安定性が悪くなり大変危険です。お止めください。
---	---

< 折りたたんで移動する場合 >

各棚と帆立（前）を帆立（後）にガムテープなどで留めてから移動させてください。

	手や指を挟まないよう、帆立上部を持って移動してください。必ず大人2人で両脇を持ってください。
---	--

耐荷重量について

上段棚 < 3kg >	
中段棚 < 4kg >	
下段棚 < 5kg >	
	耐荷重量を超えるものは載せないでください

